

教科	数学	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 文字式を使って説明しよう [多項式]	19	<ul style="list-style-type: none"> ○文字式を変形する新しい方法を学習する。 ○数や図形の性質を調べ、目的に応じて式を変形し、説明する力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ○簡単な1次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 ○文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○式の展開や因数分解することの必要性や意味を考えようとしている。 ○式の展開や因数分解について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根]	16	<ul style="list-style-type: none"> ○正方形の1辺の長さがいつでも表せるように、2乗してaになる数とその計算について、考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数の平方根の必要性和意味を理解している。 ○有理数, 無理数の意味を理解している。 ○数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 ○具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに学んだ文字式の計算などと関連付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 ○数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。 ○数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3章 方程式を利用して問題を解決しよう [2次方程式]	15	<ul style="list-style-type: none"> ○1年の1次方程式や2年の連立方程式の学習を活かして、次数が2の方程式について、その解き方を考える。 ○方程式を利用して解決できる問題の場面をさらにひろげて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ○平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。 ○解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ○因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ○事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ○具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ○2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

<p>4章 関数の世界をひろげよう [関数$y=ax^2$]</p>	<p>17</p>	<p>○比例や反比例、1次関数にと らわれない関数について調べ る。 ○関数を問題解決に利用する 力を身に付ける。</p>	<p>○関数 $y=ax^2$について理解し ている。 ○事象の中には関数$y=ax^2$と して捉えられるものがあること を知っている。 ○関数$y=ax^2$を表、式、グラフ を用いて表現したり、処理した りすることができる。 ○いろいろな事象の中に、関数 関係があることを理解してい る。</p>	<p>○関数 $y=ax^2$として捉えられ る2つの数量について、変化や 対応の特徴を見だし、表、 式、グラフを相互に関連付けて 考察し表現することができる。 ○関数 $y=ax^2$を用いて具体的 な事象を捉え考察し表現するこ とができる。</p>	<p>○関数 $y=ax^2$の必要性和意味 を考えようとしている。 ○関数 $y=ax^2$について学んだ ことを生活や学習に生かそうと している。 ○関数 $y=ax^2$を活用した問題 解決の過程を振り返って検討し ようとしている。</p>
<p>5章 形に着目して図形の性質 を調べよう [相似な図形]</p>	<p>23</p>	<p>○小学校での拡大図や縮図の 学習をもとに、形が同じ図形の 性質を詳しく調べる。 ○直接図ることが難しい長さや 角度を求める方法などについ て、考える。</p>	<p>○平面図形の相似の意味及び 三角形の相似条件について理 解している。 ○相似な平面図形の相似比と 面積比の関係について理解し ている。 ○基本的な立体の相似の意味 を理解し、相似な立体の相似 比と表面積の比や体積比の関 係について理解している。 ○誤差、有効数字の意味を理 解し、近似値を$a \times 10^n$の形に 表現することができる。</p>	<p>○三角形の相似条件などを基 にして図形の基本的な性質を 論理的に確かめることができ る。 ○平行線と線分の比について の性質を見だし、それらを確 かめることができる。 ○相似な図形の性質を具体的 な場面で活用することができ る。</p>	<p>○図形の相似の意味や、相似 な図形の相似比と面積比や体 積比の関係を考えようしてい る。 ○図形の相似について学んだ ことを生活や学習に生かそうと している。 ○相似な図形の性質を活用し た問題解決の過程を振り返っ て検討しようとしている。</p>
<p>6章 円の性質を見つけて証明 しよう [円]</p>	<p>10</p>	<p>○円の性質を詳しく調べ、円に ついての見方をひろげる。</p>	<p>○円周角と中心角の関係の意 味を理解し、それが証明でき ることを知っている。 ○円周角の定理の逆が成り立 つことを知っている。</p>	<p>○円周角と中心角の関係を見 いだすことができる。 ○円周角と中心角の関係を具 体的な場面で活用することが できる。</p>	<p>○円周角と中心角の関係を見 いだそうとしている。 ○円周角と中心角の関係につ いて学んだことを生活や学習に 生かそうとしている。 ○円周角と中心角を活用した 問題解決の過程を振り返って 検討しようとしている。</p>

<p>7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理]</p>	<p>13</p>	<p>○直角三角形にひそむ関係を見出す。 ○証明を考えたり、いろいろな場面で利用したりする力を身に付ける。</p>	<p>○三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ○三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ○三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。</p>	<p>○三平方の定理を見いだすことができる。 ○三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。</p>	<p>○三平方の定理を見いだそうとしている。 ○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
<p>8章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査]</p>	<p>6</p>	<p>○一部から全体の傾向を推測する調査の方法を学習する。 ○身の回りの調査などについて、正しく解釈できる力を身に付ける。</p>	<p>○標本調査の必要性と意味を理解している。 ○コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。</p>	<p>○標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ○簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。</p>	<p>○標本調査の必要性と意味を考えようとしている。 ○標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>